

報 告

H. C. R. 2014 車椅子トレーニングイベント『子ども広場で広げよう!!』

パシフィックサプライ株式会社 杉本 昌子

1. はじめに

2014年10月1日～3日に第41回国際福祉機器展(以後H.C.R.2014)において特別企画【障害児のための子ども広場】が展示会と併催された。その特設会場を利用して、横浜市総合リハビリテーションセンターと一般社団法人日本リハビリテーション工学協会が協力して、車椅子トレーニングイベント『子ども広場で広げよう!!』を開催したので、ここに報告する。

2. 車椅子トレーニングイベントの概要

日本チェアスキー協会会長丸山靖氏と、スウェーデンで車椅子インストラクター研修を受けた岡野善記氏と、2名の車椅子ユーザーをインストラクターとして招聘し、参加者へ日常生活の中で必要となる車椅子の基礎的な操作技術を伝える内容となっている。

3. 開催にあたり

H.C.R.2014に出展企業(計8社)に協賛を依頼し、事前に案内チラシを作成・配布を行った。また子ども広場事務局からも協力を得て、イベントの周知を行った。会場レイアウトや準備物に関しては、事務局と連携・調整を適宜行った。参加者が当日試乗できるよう、協賛メーカーから試乗可能な車椅子の提供も得た。

4. 当日の様子

定員15名のところ、当日参加者は6名(2名見学)であった。イベント参加前に車椅子試乗・調整を車いすSIGよりエンジニア2名と各メーカー担当者の協力を得て実施。トレーニングの時間は約105分であった。



図1 会場の様子

イベント終了後、満足度アンケートを実施した。全体満足度96%であった。

具体的には親に促されて会場に入ってきた子ども達が、イベントが始まった途端、親元を離れインストラクターの後ろについて自由に動きまわる姿に、親はもちろん見ている私たちの心も動かし、会場を笑顔の渦にさせていたことは容易に想像できるであろう。また、子ども同士声を掛け合い励ましあい、自分たちのコミュニティが自然と作られていたことに驚きであった。

5. おわりに

定員には至らなかった理由として、イベントの情報が必要とされるユーザー家族へは伝わりにくかったことが考えられる。また平日開催ということもあり、家族参加が困難であったことも理由の一つである。今後は開催地・日程・情報提供等、検討事項は多数あるが、ユーザーに、ユーザーのQOL向上に直接貢献できるイベントの継続はとても重要なことと考える。

本イベントに関しては、様々なユーザー・機関・支援者・企業などの協力の下、開催することが出来た。この場を借りて、関わってくださった全ての皆さま、心より感謝申し上げます。

パシフィックサプライ株式会社 事業開発本部
〒574-0064 大阪府大東市御領1-12-1